

巡回展 変わりゆく品川の風景 5地区のまち並み―八潮地区―

期間	令和5年10月11日（水）～11月13日（月） 34日間
会場	こみゅにていふらざ八潮 1階廊下
観覧料	無料
観覧者数	※数取器の設置ができなかったため不明

【開催趣旨】

第3回目はこみゅにていふらざ八潮で開催した。明治時代から開始された東京港の造成と拡張計画は、京浜運河の掘削と埋め立てにつながり、現在の品川区域にも広がりを見せた。昭和30年代になり、大井埠頭その1（現、品川区八潮・大田区東海）と大井埠頭その2（同、大田区城南島）の約7.31km²の埋め立て、13号地（現、品川区東八潮を含む）の埋め立てが東京都によって進められた。大井埠頭は、港湾、鉄道、商業、公園、住宅など多様な土地利用がなされた類い希な埋立地であり、昭和58年（1983）に入居を開始した品川八潮パークタウン（八潮団地）は、水と緑に囲まれた住宅地として現在に至っている。

本展示では、品川区域全体や八潮地区の変遷を地図で追いつつ、八潮地区の風景を写真や地図などのパネルで紹介した。

